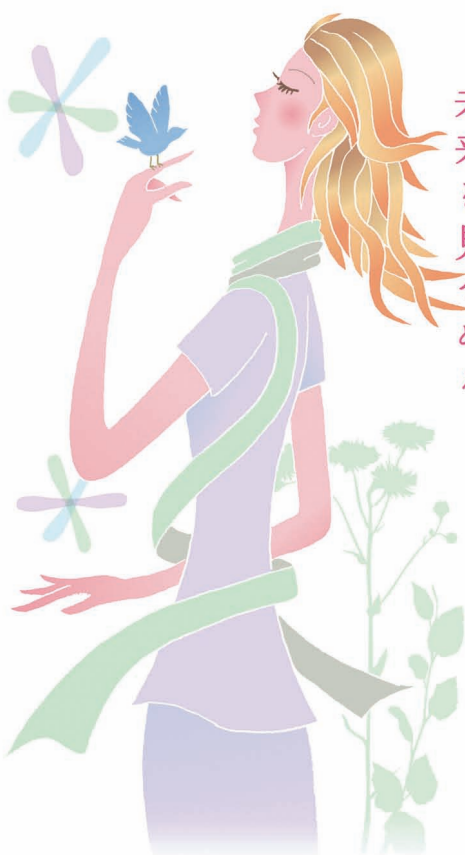


富山の女性たちの健康と
未来を見つめる



子宮頸がん啓発キャンペーン

未来への約束

Promise to your future

だれでも、いくつになっても、
未来を夢みることは楽しく、
かなえない夢があるから、
前へ歩む力が生まれるのかもしれない。
富山のすべての女性たちの健康を守り、
輝く明日へつなごう。

そんな願いをこめて、北日本新聞社は、
子宮頸がん啓発キャンペーン
「未来への約束」をスタートします。

知ることが第一歩です。

子宮頸がんは、原因が明らかで
「予防できるがん」であるにもか
かわらず、全国で年間約9,000人が
新たに発症し、約2,700人が亡く
なっています。子宮頸がんを知る
こと。それは女性たちの未来への
確かな支えになるはずです。

20〜30代の女性に急増

子宮頸がんの原因はHPV(ヒトパ
ピローウイルス)というウイルスで、
性体験のある女性の誰もが感染の
可能性があります。最近ではセク
シュアルデビューの年齢が若く、
10代後半からHPVに感染し、
20代・30代で子宮頸
がんが見つかるケースが増えています。

ワクチンで7割予防

HPVの感染は、ワクチンによって7割
程度防げます。ワクチンは性体験前の10代
での接種が推奨されており、県内の市町村
において、2012年度は中学生・高校
1年生を対象に接種費用が全額助成され
ています。また助成対象である思春期の
女性以外でも、ワクチンによる感染予防
効果は期待できます。

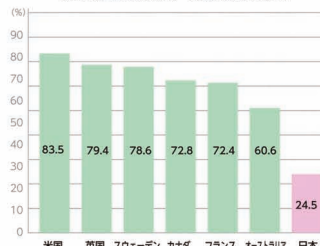
定期検診が欠かせません

ワクチンですべてのHPV感染は予防
できません。したがって検診による早期
発見が重要です。子宮頸がんは発症まで
何年もかかります。1〜2年(性行為の
機会が多い間は1年間隔が望ましい)に
1度の「細胞診検査(細胞診)」で、がん
になる前段階で発見・治療できます。
さらに「HPV検査」でウイルス感染を
チェックできます。

検診受診率はワースト

世界各国の子宮頸がん予防の意識は高く、
アメリカやヨーロッパでは検診受診率は
80%前後です。ところが日本の受診率は
25%にも届かず、先進国の中で最低です。
赤ちゃんを育む子宮や、かけがえのない
命を、自分が行動し守るべきことを
知り、ぜひ検診を受けてください。

世界各国の子宮頸がん検診受診率
OECD加盟国における20〜69歳の女性、2009年



健康な今から備える

すべての女性にリスクがあるからこそ、
健康な今からできることを始めよう。
ワクチン接種、検診、そしてもうひとつ
は経済的な備え。がんになれば治療費や
通院の交通費、後遺症ケアなど、健康な時
は想像もつかないお金がかかります。
費用のめどが立たず治療をあきらめるこ
となどないように備えましょう。

今後も新聞、フリーマガジン「Q2」、
web、イベントなどを通して、
さらに詳しく情報発信していきます。
ぜひご注目ください。



富山県立中央病院 産婦人科
南 里恵 先生

自分の体と人生は、
自分で守りましょう。

女性の多くが「HPV」に感染します。

子宮には、赤ちゃんが育ち、生理をつくる「体」と、その出口に
ある「頸」があります。子宮頸がんは、性交渉によって子宮の
頸部にHPV(ヒトパピローウイルス)が感染することで起きます。
HPVは私たちの身の回りのどこにもいるウイルスの原因ウイルスです。
現在100種類以上の「型」が知られており、約40種類が性接触や結核に
感染します。そのうち子宮頸がん発症に深くかかわる15種類がハイ
リスクHPVとして特定され、中でも進行子宮頸がんでは16型・18型
による感染が多く認められます。

80%以上の女性が性生活を営む中でHPVに感染しますが、免疫が
働いてほとんどの人は治ります。しかし一部の人にはウイルスが
消えず感染が持続し、約10年が経たないとされています。
もちろん男性もHPVに感染しますが、女性に比べてがん発症の
頻度が非常に低く、健康に影響することはまれです。

がんになる前に防げる、見つかるがんです。

子宮頸がんは発症するまでに時間があり、定期的な検診を受けることで、
がんになる前に細胞の異常を見つけて治療できます。1〜2年に1度、
細胞診検査を受ければ予防できるのです。細胞診に加えHPV検査
を受け、自分がハイリスクHPV感染者かどうかを知り、このままでも
性体験前にできることはHPV感染を予防するワクチン接種です。
免疫が弱る10代前半ほどワクチンは効果的といわれていますが、それ
以降でも感染予防効果はあります。ただしワクチンで防げるのは16型・
18型の2型で約7割程度です。ワクチンで防ぎきれない感染をカバーす
るためにも、セクシュアルデビュー後は検診を怠らずに受けてください。

正しい知識をもつて自分を守ってください。

予防できる子宮頸がんも、進行してしまえば妊娠・出産の可能性を
失い、思い描いた人生設計をかなえないことになりま。進行度
により子宮摘出手術が広範になれば、さまざまな後遺症が生じむこ
ともあります。まして20代・30代で命を落とすなんてやりきれませ
ん。パートナーと将来を一緒に生きていくのか、それともいつ、何人産
みたいのか、仕事は辞めるか、自分の女性としてのライフスタイル
を考え、パートナーや家族のことを思い、検診は「ワクチン」は？
そもそも性行為は？責任を持つという行動するべきか見えます。
正しい知識を聞き、自分の体は自分で守りましょう。パートナーや
家族との信頼を保ちながら、女性たち一人ひとりが子宮頸がんを正しく
知り、正しい前向きに予防する社会になることを願っています。

子宮頸がん啓発セミナー

「がんになったFPが伝えたい、
がんのお金で困らないためのアドバイス」

講師 黒田尚子氏
(CNJ認定乳がん体験者コーディネーター
GFP-1級ファイナンシャルプランニング技術士)

6/20(水) 15:00~17:00
●水見商工会館4F第一大会議室
主催:アクサ生命保険 高岡営業所
共催:水見商工会議所
お申し込み・お問い合わせ ☎0766-26-0169

6/21(木) 13:30~15:30
●魚津商工会議所5F研修室
主催:アクサ生命保険 富山営業所
共催:魚津商工会議所
お申し込み・お問い合わせ ☎076-423-2724

入場無料

主催/北日本新聞社 後援/富山県、富山県教育委員会、富山県医師会、富山県産婦人科医会、富山県商工会議所連合会、富山県商工会議所女性会連合会、NPO法人 女性特有のガンのサポートグループ オレンジティ

協賛社

AXA アクサ生命
redefining / standards

OXARKS
オークス株式会社

北陸銀行

gsk GlaxoSmithKline
グラクソ・スミスクライン株式会社

八尾総合病院

女性クリニック
We! TOYAMA

大王製紙株式会社

YA-MIAN

ろうきん